

【ヤンマー(株)：RHシリーズ】のとも洗い手順書

- (1) 取扱説明書に記載された通常の清掃を行い、①粳投入口（ホッパ）など外部に付着した異物、②機械内部の残留物を取り除いて下さい。
 - (2) 以下の①～⑧の手順に従って、粳を投入し、3分間の循環運転を行った後、玄米を排出して下さい。
- ① 当年産の**粳を 50kg** 用意します。
 - ② 粳摺機の仕上米排出口と残米排出口に、とも洗いに使用して排出した玄米を廃棄するための紙袋をセットします。

- 廃棄用の紙袋を仕上米排出口にセットした様子



- ③ 通常どおり、粉をホッパに入れます。このとき、ホッパは20～30kg ぐらいで満杯になるので、こぼれないように注意して入れて下さい。

- 粉を 30 kg程度投入した様子

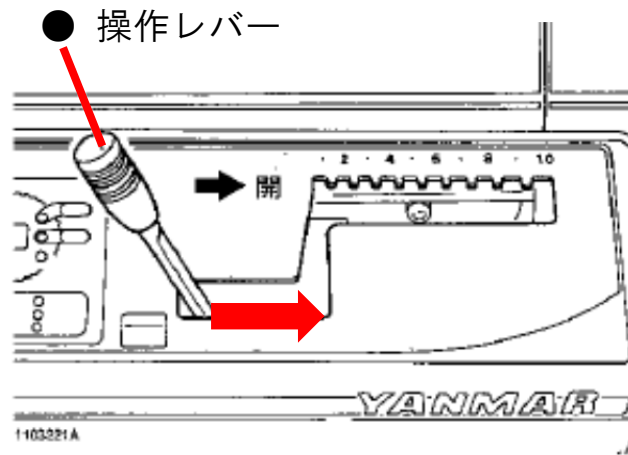


※写真と実物は異なる場合がありますので、取扱説明書を御確認願います。

- ④ 通常の粉摺り作業と同様に、電源を入れ、ロール間隙を調整して下さい。

なお、自動ロール間隙調整機能のある粉摺機の場合は、ロール間隙を調整する操作は不要です。

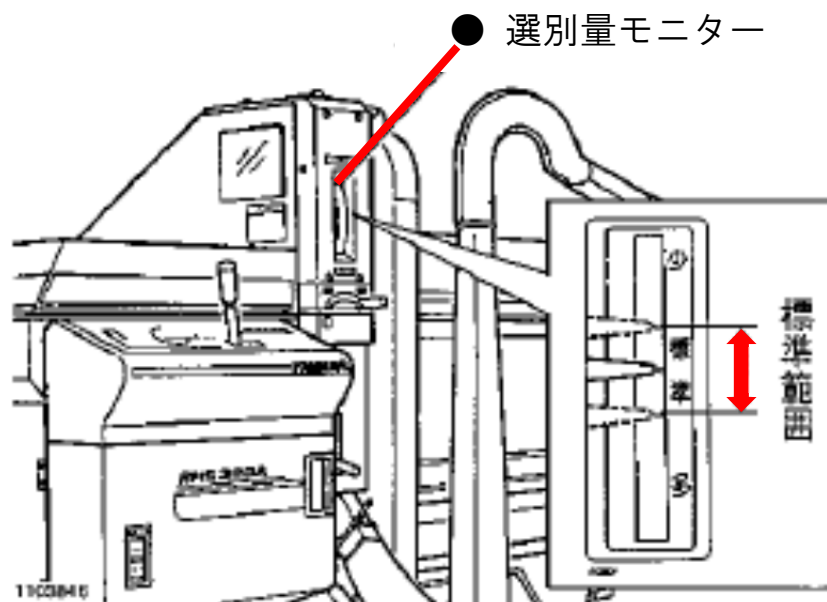
- ⑤ 操作レバーを「開」の位置に合わせて、ホッパのシャッターを開けます。



- ⑥ 選別量モニターを確認しながら、**指針が標準範囲内になるまで粉を投入**します。

ホッパの粉がなくなりそうになったら、残りの粉をホッパに足し入れます。

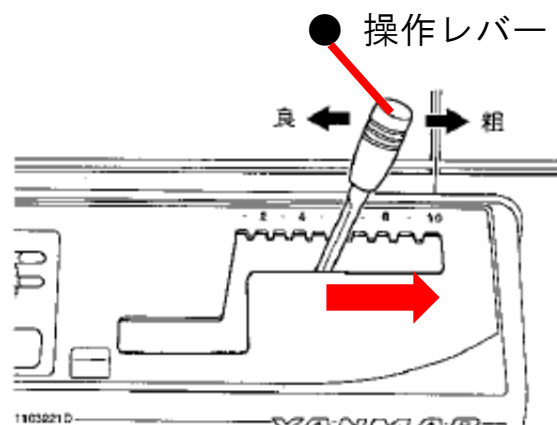
合計 50 kg程度の粉を投入しますが、機械が小さい場合は 10kg 程度余ります。



⑦ **3分間、循環運転**を行って下さい。

⑧ 3分間の循環運転の後、操作レバーを粗側「**10**」に調整し、
籾摺機内の玄米を全量排出して下さい。

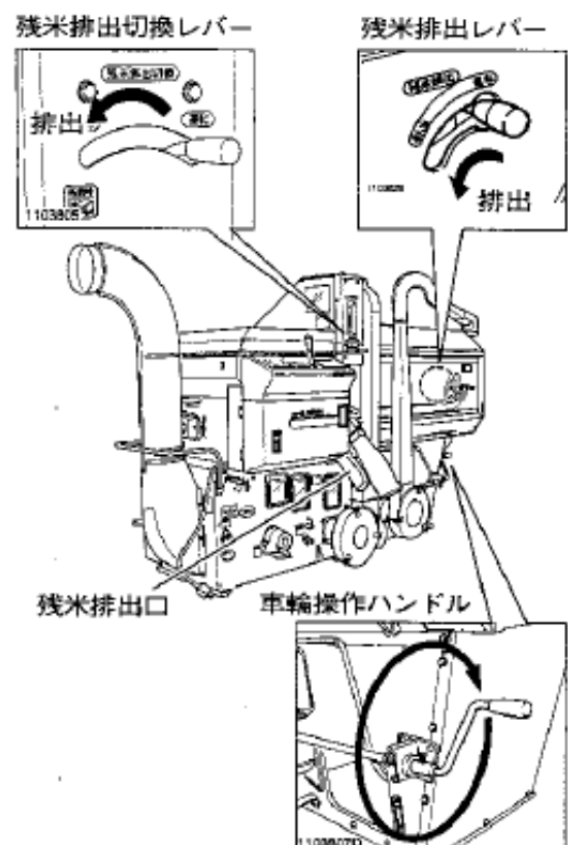
なお、このとき玄米は、廃棄用の紙袋に排出し、選別・計量機に絶対投入しないで下さい。



仕上米排出口から、玄米
が出なくなったら、残米排
出運転を行って下さい。

残米排出切換レバーと残米
排出レバーを「排出」位置
に合わせると、残米排出口
から残米が出てきます。

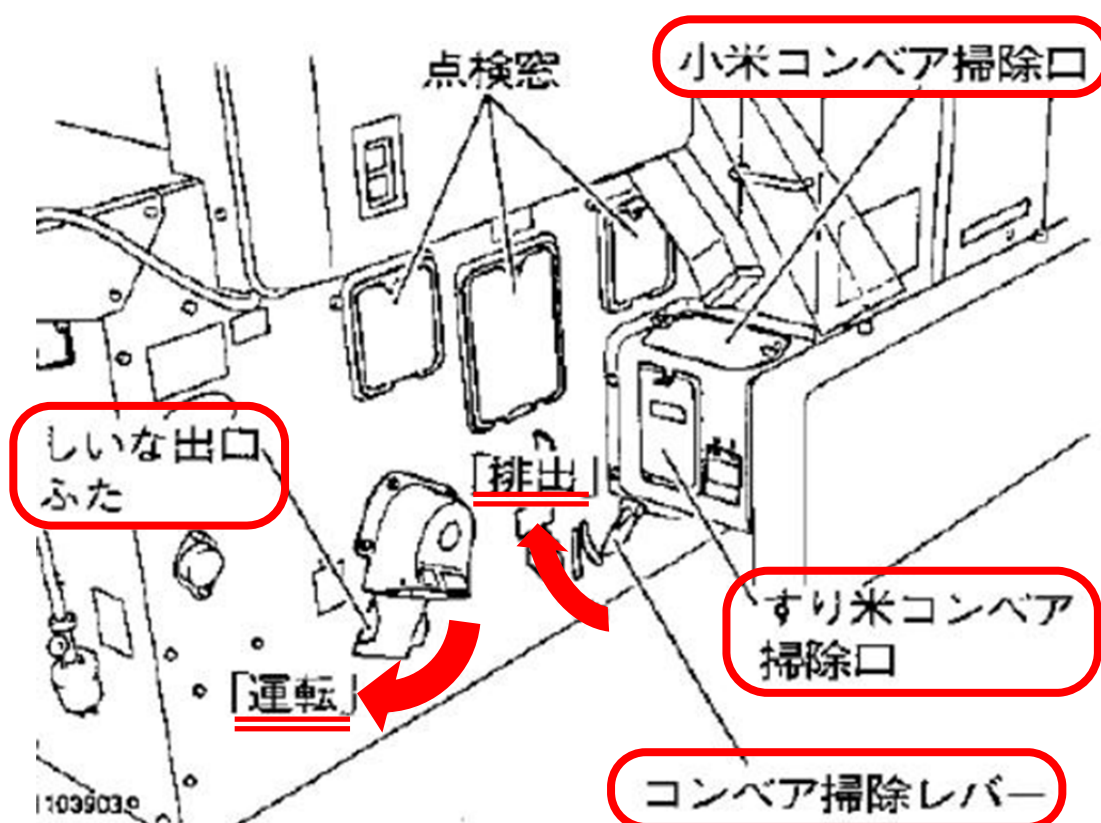
さらに、車輪操作ハンドル
で後車輪を出し、機体を傾
斜させて残米を排出して下
さい。



- (3) 「とも洗い」終了後に、再度コンベアや掃除口の残留物を取り除いて下さい。

※詳しくは、取扱説明書を御参照下さい。

● 残留物を除去する箇所と操作



ロータリー式選別の場合は、ロータリー部分に玄米が残りやすいので、「とも洗い」後にロータリーを取り外して中の残留物を取り除いて下さい。

※取り外し方については、取扱説明書を御参照下さい。

- ロータリー上部のカバーを外した様子



- ロータリーを引き出した様子



【お問い合わせ先】

ヤンマー 株式会社

農機事業本部 国内営業部 営業グループ

TEL:06-6376-6264 / FAX:06-6373-1145